

# 会報 天竜りゅう

2025年  
1月15日  
第141号

(一社)天竜建設業協会 浜松市天竜区二俣町鹿島491-5 ☎(053)926-1562 FAX(053)925-6468  
電子メールアドレス jimutyo@tenkenkyo.net ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>  
編集・発行 広報委員会 題字 長谷川智彦



## 天竜スーパー林道から臨む 春野の山々と霊峰富士

スーパー林道を走行すると、稀に開けた箇所が見受けられます。  
山頂を走る道ですので周囲の山々を見下ろす景色は絶景です。

## CONTENTS

|                     |   |
|---------------------|---|
| 新春メッセージ             | 2 |
| かんとくさん/最近のキーワード     | 3 |
| 協会ニュース              | 4 |
| 建設ギャラリー/ちょっとおすすめグルメ | 5 |
| マイファミリー/コーヒーブレイク    | 6 |

# 令和7年 新春メッセージ

明けましておめでとうございます。会員、賛助会員の皆様並びに地域の皆様には、さわやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
一般社団法人 天竜建設業協会



【天竜区】魅力発信プロジェクト

## 謹んで新年のお慶びを申し上げます

昨年の夏は酷暑による高温が続いた一方、六日未の大雨や台風十号の影響で、多くの被害が発生しました。中山間地域にある天竜区において、急激化する山地災害への対応は喫緊の課題となっており、協会員の皆様のご協力なくして、安心・安全な市民生活の実現はあり得ません。天竜区の豊かな自然環境は災害発生リスクと隣り合わせであり、大規模な山崩れ、滑り、土砂崩れ、さらには河川の氾濫などがあります。そこで、「新・天竜区」魅力発信プロジェクトによる取り組み、天竜区公式Instagram「シズル天竜」による情報発信を始めたところです。本年も天竜区政へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和七年 元旦  
浜松市天竜区長 仲井 英之



浜松市天竜区長  
仲井 英之

## 謹んで新年のお慶びを申し上げます

近年、台風や豪雨などの自然災害が頻発する中、普協会の皆様には災害発生時の初動対応や復旧工事におきまして、迅速かつ的確な対応をいたした協会の皆様、そして地元建設業の皆様は、まさに地域の守り手として、インフラの整備や維持管理はもとより、災害対応においても、不可欠な存在であり、こうした皆様の日々のご尽力が、私たちの暮らしの安全と地域の発展を支える礎となっていることを、認識しているところでございます。本年も、災害に強いまちづくりと地域の発展に向けて、官民一体となり、道路・河川対策、防災対策、インフラ老朽化対策、道路改良等を一層取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。普協会のさらなる発展と、会員の皆様のご健康、ご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

令和七年 元旦  
浜松市土木部長 平井 親一



浜松市土木部長  
平井 親一

## 謹んで新年のお慶びを申し上げます

昨年は、能登半島の地震に始まり、南海トラフ地震情報の発表、JR東海道線が連続5日間も止まる長雨と、大規模な災害の発生が懸念された中、協会員の皆様には通常の治山・林道事業の執行にご協力いただき、深く感謝申し上げます。本年も、持続可能な林業経営への支援と森林の適正な管理のため、治山・林道事業を進めてまいりますので、引き続き工事現場での安全な管理にご留意のうえ、同事業へのご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和七年 元旦  
静岡県西部農林事務所 天竜農林局長 山田 達司



静岡県西部農林事務所  
天竜農林局長  
山田 達司

## 謹んで初春のお慶びを申し上げます

当地区振興局の振興方には、河川・防災事業等の推進に資するご協力いただき、さらに昨年六月及び八月の豪雨による災害時の緊急な対応にも尽力いただき、大変お世話になりました。誠にありがとうございます。改めて、当地区の「安全・安心」に協会の皆様方のお力ご支援を、維持されていくものであることをお願いいたします。本年も天竜建設業協会の振興方と力を合わせ、地域の「安全・安心」の向上に努めていきたいと思っておりますので、引き続き天竜建設業協会の皆様方よりお祈り賜りますようお願い申し上げます。

令和七年 元旦  
静岡県浜松土木事務所 天竜支局長 菅沼 忠嗣



静岡県浜松土木事務所  
天竜支局長  
菅沼 忠嗣



謹んで新年のお慶びを申し上げます  
 天竜整備内では、気候変動に伴う自然災害の激甚化・頻発化により、毎年のように災害による深刻な被害が発生しております。昨年6月の豪雨と8月の台風接近に伴う被害により、土砂崩れや路肩崩落など、多くの被害が発生し、北進地域の市民生活や経済活動に大きな影響を与えました。協会の皆様には、現在も天竜整備各地域に、災害復旧におけるご対応や、日頃の道路維持管理に多大なご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。本年も地域の安全・安心で快適な生活を支えるため、ご尽力を賜りますようお願いいたします。天竜土木整備事務所職員が一丸となり、「巨大災害」への懸念を察し、ご協力をお願い致します。協会の皆様の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げます。令和7年 元旦  
 浜松市土木部天竜土木整備事務所 所長 毛利 健太郎

謹んで新年のお慶びを申し上げます

昨年は林道災害発生時における緊急対応や維持管理にご尽力を賜り心よりお礼申し上げます。  
 本年も地域の安全・安心のため、協会員の皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
 皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。  
 令和7年 元旦  
 浜松市 産業部 林業振興課 天竜森林事務所 所長 大畑 雅司



浜松市産業部林業振興課  
 天竜森林事務所長  
 大畑 雅司



浜松市土木部  
 天竜土木整備事務所長  
 毛利 健太郎



浜松市産業部  
 林業振興課  
 天竜森林事務所  
 池田 裕樹

浜松市役所林業振興課天竜森林事務所の池田裕樹と申します。配属されて2年程経過しました。浜松市が管理する林道の工事の設計・施工管理業務や維持管理業務を担当しています。  
 近年、日本各地で頻発する豪雨災害は大変不安であります。しかしその一方で、地域の安全を守るために昼夜を問わず迅速な復旧作業や防災対策に尽力される土木事業や林道事業の関係者の皆様には、深い敬意と感謝の念を抱いております。  
 私たちの安全な生活を支えるこれらの事業は、平時にはあまり目立ちませんが、災害時にその真価を発揮します。これからも天竜地区の自然との共生を図りながらより強靱な国土づくりに向けて、私自身も少しでも力になれるよう日々研鑽を重ねて精進していきたいと思っております。今後ともよろしくお願致します。

最近のキーワード  
 「人手不足」

デフレの時代が30年続き、コストカットのため従業員やパート、アルバイトの削減など人員削減についてかつてよく耳にした。しかし、長年「人手不足」の声を耳にすることはなかったように思う。  
 現在、あらゆる産業で「人が足りない」という声が聞こえる。コンビニやファストフード店では外国人のアルバイトの姿もよく目にする。先日、東京のファストフード店に入った。外国人のアルバイトがかたことこの日本語で対応してくれた。ふと、カウンターの中を見回すと従業員はほぼ外国人で、日本人は店長の名札を付けた1人だけだった。  
 建設業でも「人手不足」は深刻だ。現場監督、下請けにいたるまで人が足りない。専門工事業の社長は「昔からの技術も外国人技能実習生に伝えている」と話してくれた。静岡県は多くの産業があるため、建設業は競争に負けてしまうという。  
 「人手不足」解消のためには入職者を増やさなければならぬ。若者であれば企業として将来を見通せる。そのためにも、建設業の魅力を発信し続けていくことが大切だ。建設業は「国土や社会を創る仕事」だと誇りをもって働いている。欠かすことのできない産業である。建設業が持続可能な未来をつくることは、今の取り組みにかかっている。



長谷川会長が黄綬褒章を受章

令和6年11月3日、令和6年秋の褒章が発表され、当協会の長谷川智彦会長が業務精励で黄綬褒章を受章しました。長年にわたり建設業界の発展に尽くし、積極的に社会貢献、地域防災等に取り組んだことが評価されました。



長谷川会長

令和6年秋の褒章

褒章の伝達式は、11月13日に国土交通省で行われ、中野洋昌国土交通大臣から伝達を受けました。その後、皇居にて天皇上陛下に拝謁しました。



伝達式(国土交通省)

道路愛護除草を実施

9月18日に天竜・龍山地区、春野地区、佐久間地区の会員各社による道路愛護活動(除草作業)を実施しました。これは、当協会が地域の社会貢献活動として毎年実施しているもので、当初は8月の「道路ふれあい月間」に合わせて8月28日に実施する予定でしたが、台風10号による大雨の影響で延期になったものです。

天竜・龍山地区の出発式では、長谷川会長及び天竜土木整備事務



出発式(上)と除草作業(下)

所の新村副所長からご挨拶をいただいた後、各所に分かれて除草作業を行いました。今年も、7月26日に実施した水窪地区も含めて、計30社65名が参加しました。

天竜高校の土木授業を支援

当協会では、平成30年度より、天竜高校からの依頼を受けて、土木実習授業に会員技術者を講師として派遣しています。

今年度は、昨年度に引き続き藤森下組の技術者が講師となり、高校の敷地内に柵板を設置する工事のほか、実際の工事現場の見学など、1回2時間の実習を計6回行いました。



実習の様子

「建設技術フェア2024 in 中部」を視察

企画青年委員会

令和6年11月29日に企画青年委員会柏崎委員長ほか12名で、ポトメッセなごやで開催された「建設技術フェア2024 in 中部」を視察しました。

協会を出発し、名古屋市の熱田神宮を参拝して工事の安全と各々の思いを込めました。平日なのにわりと参拝客が多くびっくりしました。



熱田神宮参拝



フェア会場の様子

お昼過ぎにポトメッセなごやに到着し、約2時間会場内を視察しました。会場内は369社・団体が出展しており、学生や建設業者、販売代理店、コンサルタントなど大勢の人たちが賑わっていました。中にはタイムリーな工法や資材の展示もあり、早速発注者に相談してみようかなど、直ぐに生かせるものや今後の災害復旧に役立つようなものばかりでした。このようなイベントに参加したのは初めてではなかったのですが、やはり帰りには沢山のカタログや粗品をもらい、帰りのバスの中で熱心に読んでいる人や、工法や資材の話をしている人もいました。

近年、新技術や新工法などICT関連の技術がすごいスピードで発達しています。今回のような技術フェアを参考に今後の工事や災害復旧に役立たせ、話題に乗り遅れないように頑張っていきたいと思っています。



# 建設ギャラリー

- 工事名** 令和4年度 [第34-S3056-01号]  
水窪川支川芋堀寺沢砂防工事 (溪流保全工)
- 工事箇所** 浜松市天竜区佐久間町相月地先
- 工期** 令和5年3月28日～令和6年1月31日
- 発注者** 静岡県浜松土木事務所
- 施工業者** 伊藤建設株式会社
- 工事概要**
  - 溪流保全工L=35.2m
  - 床固工 (1) 本堤工・垂直壁工・側壁工118㎡
  - 床固工 (2) 垂直壁工・側壁工・水叩工54.6㎡
  - 護岸工11.4m



(着工前)



(完成)

本工事は溪流保全工として、土石流災害から家屋等を守るため本堤や護岸工を設置し自然に近い形で、スムーズな水の流れを確保する工事です。県の土木事務所発注工事で、今回で5期目の継続工事で今年度完結予定です。山間部特有の急傾斜地での作業で、仮設道も急勾配の為、資材運搬や生コン打設も考慮が必要な施工でした。

その中で特に頭を悩ましたのは、普段は水量が少ないのですが、雨が降ると一挙に水量が増えます。昨年ゲリラ豪雨には、水が流路から溢れ出て、家屋や畑に流入する事態も経験しました。今回は常に天気予報を気にして降雨対策に万全を期したので、大きな被災なく、無事故で作業を終えることが出来ました。



**住所** 浜松市天竜区春野町堀之内  
993-54  
**電話** 053-985-0021 (予約可)  
**営業時間** 11時～14時 (L.O.13時30分)  
16時～  
**定休日** 毎週月曜日

店内は木のぬくもりを感じる落ち着いた雰囲気、カウンター席、テーブル席、お座敷席、二階には大広間 (要予約) もあります。  
この機会にぜひ足を運んで、「新橋屋の鉄火丼」を味わいあれ!!  
国道362号線を春野町方面へ北進。気田川に架かる犬居橋を渡るとすぐ左側。



## 「新橋屋」

(株)渡辺兄弟工業 渡邊雄介

おすすめグルメ

ちよっつ



有限会社 飯島建設

平野 巳利

から一緒に暮らすようになりました。

生まれて半年でコロナ禍になり、外食や遠出も思うように出来なかったため、同居するまで同じ時間を過ごす事はほぼありませんでした。それが今では私が仕事から帰ると、これやって！あれやって！と後ろをついて回って来ます。

ゲラゲラ笑っていてくれればいいのですが、勝負事はクイズで負けると泣いて怒って：まあ大変。女の子って難しい：（一応、三姉妹の父親です）。

嫌なニュースが多い世の中ですが、孫に追いかけられる1日の終わりの時間はきっと幸せな時間なんだと言いつけさせ：まだまだ休んではいられないと日々感じています。自然の中で伸び伸び明るく元気に育ってくれることを願っています。



浜松いわた信用金庫二俣支店

田口 咲空

こんにちは。

浜松いわた信用金庫二俣支店の田口咲空です。

私は、高校を卒業し、地元で就職したばかりの一年目の職員です。初めての職場環境や日々の業務に少しずつ慣れながら、毎日一生懸命頑張っています。まだ、分からない事や慣れない事も多く、毎日が学ぶ事の連続ではありますが、お客様一人ひとりに寄り添った対応が出来るよう、笑顔を絶やさずに励んでいきます。また、二俣支店の魅力や地域の温かさに触れる中で、地元へ貢献できる事の喜びを実感し、とても充実した日々を過ごせています。

まだまだ未熟ではありますが、「明るい笑顔」と「誠実な対応」を心掛け、お客様それぞれのお困りごとを、安心して相談していただける存在となれるよう努めて参ります。

これからも、どうぞよろしくお願い致します。皆様のご来店を心より、お待ちしております。

建退共の掛金が電子申請で納付可能になりました！

建設事業主のみなさま



①電子申請方式とは

証紙に代わる「退職金ポイント」という電子ポイントを事前に購入し、被共済者の就労日数を登録した「就労実績ファイル」により、個々の被共済者の掛金として充当するものです

②電子申請方式の申し込み方法は

電子申請方式申込書をダウンロードし建退共静岡県支部

電子申請方式のメリット

- ①金融機関で証紙を購入する必要はありません
- ②手帳への証紙貼付や下請への現物交付が不要
- ③共済証紙受払簿の作成・管理が不要
- ④新規手帳申込等がオンライン申請できます
- ⑤加入履行証明額の作成が負担軽減

【電子申請方式の操作方法についてのお問合せ先】 TEL0120-006-175 平日9:00~17:00

建退共静岡県支部 〒420-0851 静岡市葵区黒金町11-7-12階 TEL 054-255-6846